



学校便り

長崎県立日見中学校

令和4年7月1日

第6号

文責 校長 平野

～ 長崎っ子の心を見つめる教育週間 ～

2003年7月1日、長崎市内で4歳の幼児が行方不明になり翌日遺体で発見され、殺害したのが同じ長崎市内の当時12歳の中学生というのがわかり、社会はその事実に言葉を失いました。

このようなことを2度と起こさないためには、どうすればよいのか。手探りのような状態で作られたのが、「子どもを守るネットワーク」という組織であり、標記「子どもの心を見つめる教育週間」という取り組みです。

子どもの「心の闇」に光を照らす。ということが当時よく言われました。本校でもその使命を果たすため、この週間を中心に「命の教育」に取り組みます。

【 土曜公開授業 】

2日（土）

1校時 校長講話「命」

- ・命の唯一性
- ・命の多様性
- ・いじめ

について、自身の悪性リンパ腫り患の経験をもとに話します。



抗がん剤治療が終わり
自宅にて(平成29年12月)

2校時 各学級道徳授業（命について）

3校時 1年 平和学習学級発表会
2年 職場体験オリエンテーション
3年 マナー講座
(講師：長崎女子商業高生)

【 被爆体験講話 】

6日（水） 1・2校時

講師：丸田 和男 氏

原爆投下時、県立瓊浦中学校の1年生（当時13歳）。母死亡・同級生約300人中100人以上が犠牲となるなか、奇跡的に命を取り留めたということです。

「命」と「平和」の大切さについて語っていただき、平和学習実行委員が、後日「新聞」を作成して、報告します。



ふとうふくつ
「不撓不屈」の碑 県立瓊浦中学校（現在地長崎西高）

【 7月の主な行事 】

1日（金） 100人パトロール

2日（土） 土曜公開授業（給食なし）

4日（月）～11日（月）

教育相談

6日（水） 被爆体験講話

14日（木） 生徒総会

15日（金） 大掃除

17日（日） 家庭の日

18日（月） 海の日

19日（火） 生徒集会

20日（水） 県中総体選手推戴式
終業式（給食なし）

21日（木）～夏休み

～ 沖 縄 慰 霊 の 日 ～

今年が沖縄が本土復帰してから50周年になります。また、6月23日は沖縄戦の組織的戦闘の終結から77年目を迎えることになりました。

恒久平和を願い行われた沖縄全戦没者追悼式で朗読された「平和の詩」。家族で訪れた美術館で戦争のことを描いた「沖縄戦の図」を見て、つづったものだということです。

長崎っ子の心を見つめる教育週間で考えるのは命の大切さです。そして、命が最も粗末にあつかわれるものの1つが戦争です。昨年3年生が平和学習でレポートにまとめた沖縄戦について、もう一度心向け、「命」や「平和」について思いを深めるきっかけにしてもらえればと考え掲載させていただきました。

「平和の詩」

くこわいをして、へいわがわかったく

びじゅつかんへお出かけ

おじいちゃんや

おばあちゃんも

いっしょに

みんなでお出かけ

うれしいな

こわくてかなしい絵だった

たくさんの人がしんでいた

小さな赤ちゃんや、おかあさん

風ぐるまや

チヨウチヨの絵もあったけど

とてもかなしい絵だった

おかあさんが、

七十七年前のおきなわの絵だと言った

ほんとうにあったことなのだ

たくさんの人たちがしんでいて

ガイコツもあった

わたしとおなじ年の子どもが

かなしそつに見ている

こわいよ

かなしいよ

かわいそつだよ

せんそうのはんたいはなに？

へいわ？

へいわってなに？

きゆうにこわくなって

おかあさんにくつついた

あたたかくてほっとした

これがへいわなのかな

おねえちゃんとかんかした

おかあさんは、二人の話を聞いてくれた

そして仲間あり

これがへいわなのかな

せんそうがこわいから

へいわをつかみたい

ずっとポケットにいれてもっておく

ぜったいおとさないように

なくさないように

わすれないように

こわいをして、へいわがわかった

沖縄市立山内小学校2年

徳元 穂菜（ほのな）